

多い季節には300種の草花を楽しめる
「ガーデンカフェ タイム」

トアップしたり、さまざま頑張つて いるようです。ここでもいろいろな話を聞かせてくれます。

「I Love 大竹！」彼らは、自分の地域に誇りを持つて いますね。農業集落ですから、お年寄りの方も働き者、頑張り屋が多い。庭先の草花も、よく手入れされ、集落内も草花が増

千年の村・大竹が、将来も美しい村でありますように…。



兆源鄉

～千年の村 大竹集落～

『地域力』

そして昨年の4月、秋田の酒、
地酒の市場を活性化させようと
「酒・和・从（※1）」を結成。
大手ストアとは別な分野、地酒
の販売に特化していくこうと思つ
ています。「造った人の顔が見
える酒」、「造った人の思いが
分かる酒」を売りたい。「○○
な人（酒蔵）が造った○○なお
酒です」と1つ1つ説明したい。

大竹は国道からも遠くて大きな駐車場もない。大竹で頑張ることが、外の方々から見ると魅力になつてゐるようです。スーパーやコンビニ、ネット販売などが多くある現在、これからは、安くもなく、便利でもないけれど「○○から買う」という時代になると思います。その「○○」は「信頼できる人」であつたり、「つながりを持つ人」であつたり、「顔が見える人」であつてほしい。

大竹は、集落みんなの顔が見える、あつたかい所ですよ。

ガーデンカフェ タイムに寄つてみてはどうですか？

然が第一なのです。庭というものは、当然、人の手がかかる訳ですが、自然に見えるように、美しく見えるようには、とても手がかかります。季節の花々、ハーブ、その色と薰りに、理屈抜きで心が癒されます。

お客様は「帰りたくない。ここにいるだけでいい」とおしゃいます。花には、目に見えない力があると実感します。私自身、お客様をお迎えしながら、傍に父と母、妹の存在を感じています。一緒にお客さんをお迎えしているのです。

大竹のことを話しましょう。
昔は、学校で「ヤマ（山）だ
ザイ（在）だ、ゼンゴ（在郷）
だ」と馬鹿にされました。（笑）
ここに来たお客さんで、ある
大学教授の方に「品のある集落
ですね」と、うれしいことを言
われたことがあります。「トト
ロの村みたいだね」とも言われ
ます。

坂が多く、狭い道沿いに密集
した家屋、屋敷内に残る土蔵、
集落内を流れる川、竹林、桜、
集落入口にある石碑、芭蕉塚な
ど、特に春の大竹は桃源郷の世
界です。手作りの「千年の村
大竹散策マップ（4ページ）」
をご覧ください。私が命名した
「竹林・哲学の道」、「トトロ
のトンネル」など、散策スポッ
トもたくさんあります。

えてきたような気がします。道が狭いので、店に来るお客様には会館（ふくじゅ館）で駐車して、歩いてもらっています。迷うことも多いらしいです。が、そういう時には、村の誰かが道を教えてくれる。外から人がやつてきて、ちょっとした会話、ちょっとした都市と農村の交流。これが私流グリーンツーリズムです（笑）。

須藤繁三郎さん

(大竹老人クラブ会長)

発信する

佐々木利子さん
(ガーデンカフェ タイム)

いらっしゃいます。

このカフエは「2人とも花と料理が好きだし、カフエができるいいな」と、妹との会話がきっかけでした。

その後、父と母、妹までもが相次いで亡くなってしまいまして。愛する家族を失う衝撃は言葉にできません。悲しみから立ち直れない日々が続きましたがようやく、「命のありがたさと『今』を生きることの大切さ」

「無為に生きることはできな
い。妹の分も生きなければ」。
彼女との約束を思い出し、平成
16年に店をオープンしました。

した。イメージは「金浦アルプスにある、大草原の小さな家」と言つていいでしようか（笑）。

